

お お は い ズ こ ん

Contents

- 巻頭言
- 開催報告
- 専門部コラム
- 施設紹介
- 「わたしが元気になれること」／季節のたより
- お知らせ
- ジャスミンのちょっと一言いいからしら
- 編集後記

4

2023

巻頭言



一般社団法人
島根県作業療法士会
統括委員長 岩根 寛

令和5年度 新年度になりました

おおはいごんが新しくなり、一年を迎えました。私はいつもクロスワードを楽しみに取り組み、ジャスミンの一言で癒されていますが、皆様はどの記事を楽しみにされていますでしょうか。さて、新年度も迎え新たにスタートすることの一つとして、しまねリハビリテーションネットワークが発足いたします。

しまねリハビリテーションネットワークの前身として平成二九年に設立された、島根県リハビリテーション専門職協議会がありま。介護予防や地域ケア会議にかかる全県的な専門職派遣の仕組みを構築する目的で県内のPT士会、OT士会、ST士会の合同組織として活動してこられました。しかし、時代背景の変化もあり、養成校支援や災害支援など、リハ職全体で取り組むべき事項



が増え、有機的・発展的に三士会が連携して地域課題に取り組みることができるよう抜本的に組織検討を行う必要性が出てきた背景があります。この組織検討に令和四年度から参加させていただき、他士会の方から様々な思いやお話を聞く機会ができ、とても勉強になりました。その中でも「共に学ぶ」「共に動く」「共に育て・支える」の三つのスローガンがあります。キーワードは「共に」です。

繋がりを大切に

検討委員会の中でも“困った時に頼れる人の顔が思い浮かぶ”ことができるような組織”という印象深いフレーズを聞きました。私はわからないことや困ることがたくさんあります。そんな時に当士会の方のみならず他団体の方の顔が思い浮かび、コンタクトが取れることはとても大きなことだと感じています。職種を超えた、「声かけやすい関係づくり」ができ、「共に」みんなで住みやすい島根県になるといいなと感じております。

目まぐるしく制度や情勢が変わる中、日々皆さまにおかれましては奮闘されていることと思います。どうぞお身体ご自愛いただきますようお願い申し上げます。

開 催 報 告



一般社団法人
島根県作業療法士会
会長 小林 央

二〇二二年度

中国地区作業療法士会 合同研修会の開催

近年の社会保障制度の改革やリハビリテーション専門職の資格者数増加など、作業療法を取り巻く環境の変化から、会員の知識や技術力向上はもとより、職能団体としての組織体制強化・職域の拡大・社会貢献など求められる社会的責務はますます大きくなっています。一方で、若手・中堅層が多くを占める士会組織にとってはその運営に携わる人材育成は急務であります。

この課題解決を目的に中国5県の作業療法士会が輪番で中国地区作業療法士会合同研修会を開催・運営しています。今年は島根作業療法士会が運営担当となり、延参加者数は百六十二名を迎えてオンライン研修会を開催しました。

クローズ研修

とオープン研修

クローズド研修は、士会役職者を中心に士会が抱える喫緊の課題5テーマについて、各県の担当者が情報共有と意見交換を行いました。隣県での取り組みを参考に今後の士会運営に役立つヒント満載の一時間でした。

オープン研修では、一般社団法人日本作業療法士協会中村春基会長より「地域共生社会の実現に向けた協会事業と士会・会員に期待すること」と題し、協会の掲げる五ヵ年戦略（二〇二二―二〇二七）と重点活動項目について概説いただきとともに、協会が国に働きかけ、作業療法士の職域を守り・広げる取り組みをわかりやすく教示いただきました。

私たちは臨床でその枠組みを積極的に活用し、対象者の活動と参加に寄与できる作業療法を提供する責務があり、県士会は活動を通じて、自治体や関連団体と密接に連携・提案しながら会員が実践しやすい環境づくりに寄与する必要性を再認識することができました。

Key word

連携強化
人材育成
資質研鑽

都市部と比較すれば県単位の会員数はさほどおおきなものではありません。しかし、中国地区全体では五千名近い会員を擁しており、県内はもとより、隣県間の連携も強固なものとなしながら職能団体として果たすべく役割が充実するようこれから人材育成と資質研鑽に取り組みを推し進めたいと存じます。

多くの参加者を迎え盛会に研修を終えることができましたこと、関係する皆さまにお礼を申し上げます。

開催報告2

2022年度 臨床実習指導者講習会 島根



生涯教育部 部長 岩本 悠

二〇二三年三月十八、十九日の二日間、厚生労働省指定臨床実習指導者講習会を開催いたしました。受講者は五十六名で、そのうち県外（東京、鹿児島）十七名、PT五名にも参加していただきました。近年、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いオンライン開催となりましたが、遠方の方が参加しやすくなったこと、他職種の方が当会ホームページを閲覧し参加されることが多くなったことは、喜ばしく感じております。

本講習会は、教育法を十分に学ぶことなく、臨床実習を指導してきた我々にとって、足りないものを補うことのできることも充実した内容です。講習会を通して受講者は、学生指導の視点は勿論、養成校や多職種との連携、MTDLPの重要性、臨床実習を引き受ける現場の体制など、心構えが変わったのではないかと思えます。今回受講された方や既に本講習会を履修済みの方は、協会主催の臨床実習指導者実践研修に、ぜひステップアップされることをお勧めします。

二〇二三年度も同時期を予定に本講習会を開催予定で進めております。ご案内は、当会ホームページまたはブロックメール等でご案内いたします。臨床実習には同僚や職場の理解・協力が必ずですので、所属先で本講習会の未受講の方がおられましたら、お誘いいただければ幸いです。当会主催の本講習会は、世話人の養成校セラピストと臨床セラピストが和気藹々と運営しています。その点において、他主催の講習会と異なり、気を張らず受講しやすい環境ですので、お気軽にご参加ください。



会員のため
実習生のため
作業療法普及啓発のため
講習会を運営しています

専門部 コラム

チームリーダー
秋吉 正広

メンバー
吉岡 弘恵
大橋 正吾
山根 友美
津田 宏太郎
篠崎 亜由美
大垣 彩香
川本 悠大
山本 豊和

精神科作業療法懇話会は、主に精神科領域に従事している作業療法士が集まり、情報・意見交換や他領域の皆様に役立てられる研修開催などを通じて、会員同士のネットワークづくりをすすめております。

近年では**マインドフルネス**に注目し、県立広島大学の織田靖史先生を講師に「生活の中にある作業とマインドフルネス」研修を、また令和四年の作業療法フェスタでは「メンタルヘルスと作業」作業療法の中にあるマインドフルネスの視点」と題したメンタルヘルスの関わる職業の方向けの研修を開催しました。ここからはマインドフルネスを活かした作業療法の実践を紹介します。

マインドフルネスとは

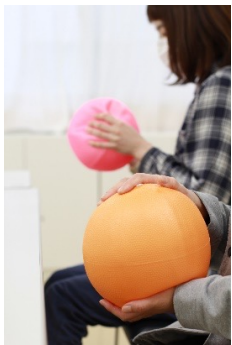
対象に常に注意を向け続け、その瞬間、瞬間に感じたものを思い出し続け（認識し続けること*により、あるがままの状態になることを目指し瞑想を行います。現在では、医療をはじめ、保健、教育、産業、司法、スポーツなど様々な分野でマインドフルネスが注目されており、マインドフルネス認知療法など精神

疾患に対する治療法も開発されてきています。

西川病院では

二種類のマインドフルネスプログラムを実施しています。一つはリワークプログラムとして行っているマインドフルネスプログラムです。もう一つは作業や日常生活を通してマインドフルネスな体験をするマインドフルネス作業療法(MBOT)です。当院のMBOTは「マライ和なごみ」と称し、入院・外来の方を対象に週一回実施しています。

フィンガーペインティングやボール回しなどをマインドフルネスの要素身体感覚などに着目し行うことで過去や未来のとらわれから離れ意識を「今」に集中させ「あるがまま」の自分への気付き受容を促します。参加者の年代や背景は様々ですが、皆で「今の体験」を共有し、プログラム名の通り和やかな雰囲気を実施しています。



*ラリー・ローゼンバーグ 井上ウイ
マラ(訳)(二〇〇二)呼吸による癒し
実践ヴィパッサナー瞑想 春秋社

松ヶ丘病院では、ギャングブル隊が抱える方々を対象に、回復支援ミートイングを月二回実施しています。その中で、ギャングブル隊がわいてきた時に咄嗟にできる対処法として「マインドフルネス」を紹介し体験していただいています。ミートイング後のクールダウンとしても、意識をギャングブルから身体各部位や呼吸へと移してもらう時間を作っています。



また、精神療養病棟に入院されている方には、自分でのストレス対処方法の幅を広げてもらうことを目的に「リラクゼーション」を行っており、その中でマインドフルネスを紹介しています。参加者の皆さんからは、自分なりに対処法を見つけたよと、姿がみられたり、声が聞かれています。



社会福祉法人ひまわり福祉会 ナーシングセンターひまわり



介護老人保健施設まんだ様からご紹介頂きました、介護老人保健施設ナーシングセンターひまわりです。日々常々他事業所様にご協力頂いております。この場をお借りして御礼申し上げます。

当施設は平成元年にopenしました西出雲地域の加算型老健です。短期入所含め計90床・通所リハビリ定員15名の小規模サービスでリハ職員常勤換算値1.5人以上、個別リハビリと利用者様第一を前提に日々奮闘しております。

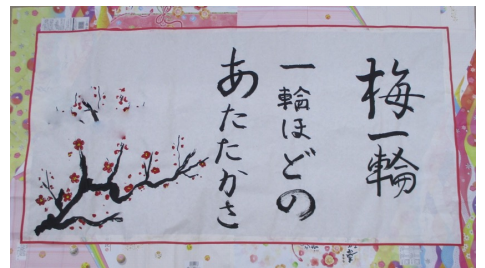
現在リハビリスタッフはOT5名、PT4名、元気で素敵なお女性陣7名とおおらかな男性陣2名、明るい声と笑い声よく聞こえる、まじめな話のときは茶化し笑いなし(たまにあり)、コロナ過もなんのその、のメンバーで構成されています。令和6年度には介護老人保健施設の役割を終え、介護医療院ひまわりを開きます。期待と近年の社会情勢から少しの不安を抱えていますが、今後も利用者様第一に西出雲地域のリハビリ分野を盛り上げていきます！

次は、老健もくもくさんにバトンタッチいたします。よろしくお願いいたします。

社会医療法人 正光会 松ヶ丘病院

あすかデイケアセンターさんよりご紹介いただきました、社会医療法人正光会松ヶ丘病院です。当院は単科の精神科病院で、同法人内には12名の作業療法士が在籍しております。

精神科作業療法やデイケア、認知症リハビリテーションのほか、ギャンブル依存症や高次脳機能障がいなどに対しても様々な取り組みを行っております。また精神科医療のみならずA・B型就労継続支援事業所、放課後等児童デイサービスなど幅広い分野にわたって事業を行い、それぞれの場所で作業療法士も奮闘しております。



平成31年2月に開所したさんさん牧場は、おかげさまで様々なメディアにも取り上げていただき多くの方に親しまれる場所となっております。患者さんや利用者さんにとっても動物と触れ合える癒しの場となっております。益田においでの際にはぜひお立ち寄りください。

次は、海星病院さんにバトンタッチいたします。よろしくお願いいたします。

Happy

「わたしが元気になれること」



稲垣 杏太
島根大学医学部附属病院

皆様こんにちは！島根大学医学部附属病院の稲垣です！

私が元気になれることは、「愛犬と散歩すること」です。我が家は柴犬を飼っており、一緒に散歩をすることが日課となっていて、います。大人しい性格の犬ですが、出かける雰囲気を感じると飛び跳ねて喜び姿が可愛く、いつも癒されていきます。週末は、子供たちも一緒に散歩をすることを楽しみにしています。散歩を通して運動する機会や、子供たちともコミュニケーションや、子供たちともコミュニケーションをとる時間が増えるため、愛犬の影響は絶大です。そして、愛犬のテンションが爆上がりするのがキャンションが爆上がりすることです。どうやらキャンションが大好きらしく、私が車にキャンション道具を積み込んでいると、一人で（一匹で？）車に乗り込んで待っているほどです。

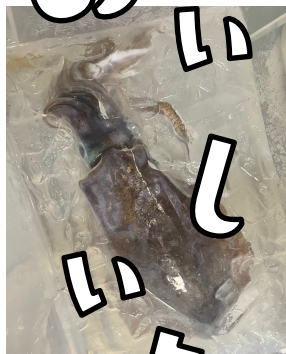
感情に素直で、一生懸命生きていくなと感じさせられる姿に、いつも元気をもらっています。



季節のたより



春から初夏にかけて、アオリイカの時期がやってきました！今の時期は産卵を控えた大きなサイザルアオリイカがよく釣れます。



昨年の夏、夜の港から海をジーンと見ていると、五百円玉くらい大きさの生き物を発見しました。水面をぷかぷか泳ぐ半透明のそれは、アオリイカの赤ちゃんだったようです。集団で同じ方向へ進む姿は見ていてとても癒されました。アオリイカの寿命は一年です。アオリイカは夏に孵化し、秋になると子イカとして活発に泳ぎます。冬は藻に隠れて、春になると産卵し、そしてその寿命を全うします。というわけで、春と秋はアオリイカシーズンの到来です。

もしかすると、夏に孵化してぷかぷか泳いでいたあの赤ちゃんイカが風当たりやの厳しい海界隈で生き残り、今こうして子持ちイカとなって再び私の元に現れているのかもしれない。そう思うと、若干の感慨深さを感じつつ、釣れた子持ちイカは煮つけて食べます（イカの肝と一緒に煮るととても美味しく出来上がりです。水は入れずに醤油と酒と、少しの砂糖で！）。スーパーでは年がら年中

様々なイカが並びますが、今の時期は子持ちのアオリイカをぜひおすすめしたいと思います。

さて、イカの話なんて興味ないよ！という場合に備えて、この春祖父と一緒に出かけた際のお花見ほのぼのの写真を添えておこうと思います。春と秋、桜です。これで間違



学会へ参加してみんさい



8APOTC.2024
8th Sapporo, Japan

第8回 アジア太平洋作業療法学会
互いに支えあう地域づくりー持続可能で根拠に基づいた作業療法ー

会期 **2024年11月6日(水)ー9日(土)**
会場 **札幌コンベンションセンター**

学会長 **中村 春基**
一般社団法人 日本作業療法士協会 会長
Ling-Hui Chang
アジア太平洋作業療法地域グループ 会長

INFORMATION | 一般社団法人 日本作業療法士協会 事務局 | 事務局 アジア太平洋作業療法地域グループ | 8APOTC.2024事務局 | QRコード | QRコード



ものごとの仕組みに注目する
ー作業療法における問題解決の糸口としてー

第57回日本作業療法学会
The 57th Japanese Occupational Therapy Congress & Expo in Okinawa 2023

2023年11月10日(金)ー12日(日)

会場 **沖縄コンベンションセンター** 学会長 **長尾 徹**
〒901-2224 沖縄県宜野湾市高志第4丁目3-1
神戶大学学生会・医学系保健福祉学域大学院保健学研究科

主催 一般社団法人 日本作業療法士協会
運営事務局 株式会社インターグループ 〒531-0072 大阪府北区東里3-20-1 インターグループ TEL: 06-6372-2052 FAX: 06-6376-2362 E-mail: o57@intergroup.co.jp

忘れてはいけない学会がもうひとつ！

島根県の作業療法学会です。国内でも少ない会員数の島根県作業療法士会も毎年ブロック持ち回りで、県学会を開催しています。二〇二三年度は益田・三隅ブロックのみなさんが、より良い繋がりを創りながら開催に向けて準備をしておられます。学会の詳細は、士会ホームページやブロックメール等で伝えさせていただきますので、ぜひチェックしてくださいね。



二〇二三年、二〇二四年はすでに日本作業療法学会のスケジュールは決まっています。私たち専門職の学びたい気持ちに寄り添って、対面だけでなく、オンラインやオンデマンドなど、多様な参加方法ができるのが最近の学会です。ご家庭の都合もあると思いますので、マイペースに参加できるオンライン参加も考えてみられてはいかがでしょうか？

学会は、作業療法における最新トピックスはもちろん、同じ悩みを抱いた仲間と繋がることができたり、新しい知見を学ぶことができたります。大切な場所です。学会が終わると、臨床や研究のモチベーションが爆上がりする作業療法士は多いはず！

また、学会に行くと、その土地の美味しいものを食べたり、観光地などを巡ったりなど、楽しい時間を過ごすことができますよ。こちらが目的で参加する人もいますね(笑)

最後に学会へ参加されたのはいつですか？

ここ数年はコロナウイルス感染拡大もあり、国内の移動は制限されてきました。そのため、学会から足が遠のいている方も多かったのではないのでしょうか？あるいは、まだ学会に参加したことがない方もおられるかもしれませんね。

おしらせ

LINE 公式アカウント

友だち 募集中

@351rqnos
LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください



島根県作業療法士会 公式LINEアカウントはじめました！

県士会主催の研修会やイベント情報をスピーディーに発信します
公式スタンプも登場！



第1-3弾のスタンプを配信中！
LINEスタンプ内で「島根県作業療法」と検索！
今後、第4.5弾と配信予定です。
ご意見ご要望はこちらまで。

kandreha@kandokai.jp

休会制度



産休/育休/介護休暇を予定されている方へ 士会 休会制度の創設について

＼ 2023年度より利用できます ＼


主に出産や育児、介護、長期の病気療養などを理由に
長期の休職や退職をされた会員への支援として創設しました。

ぜひ有効にご活用ください！

詳細は
こちら



士会公式 YouTube



島根県作業療法士会 YouTubeはじめました！

第一弾は事業部で行う作業療法フェスタの動画です。
人に寄り添い、作業に寄り添い、心あたたまる動画です。
右のQRコードから、ぜひご視聴ください！

▶ チャンネル登録



チャンネル登録をよろしくお願いします！

詳細は
こちら



おおはいごんを 一緒につくろう！

季節のたより



みなさんが季節を感じるモノやコトは何ですか？
掲載する写真やイラストを募集します！

応募は
こちら

忙しい日常の中でホッとした瞬間を感じて
ほしいという想いから生まれたコーナー。
ぜひエピソードも添えて教えてください！

本誌の感想



新しくなったおおはいごん！
感想募集中です！

感想は
こちら

記事等のご希望もありましたら
お知らせください！

ジャスミンの ちょっと一言いかしら

皆様こんにちは。最近ご当地ソースを取り寄せすぎて家族からドン引きされたジャスミンよ。ご当地ソースに心を動かされ、いつしか注文ボタンをポチっていました。後悔はしてないわ。ソースの沼にハマっているから。

今年の冬は厳しかったわね。皆様は無事越冬できたかしら。私は雪かきで沢山カロリーを消費してしまったわ。もう季節は春だから桜スイーツでカロリー補充しよう

かしら。そんなところから季節感を感じたいわね。

この連載を頂き10年近く経ちました。途中弟のトムに代打を依頼したり、一時中断もありましたが、ここまで来れました。毎年度広報部の皆様には連載のお誘いや、おはいごんの表紙に連載名を載せていただいたりとお世話になっております。誠にありがとうございます。納期を守り、地に足を付けてやってくわ。

さて、新年度だから、みなさま色々と変化があるかもしれませんね。新しい環境に疲れた時、たまには肩の力を抜いてやっていきましょう。

新年度、新しい環境・・・シン・ジャスミンにでもなろうかしら。ではまた次号で。



編集後記

新しくなった『おはいごん』も一周年となりました。会員の皆様や色々な方々に楽しんでいただけたら幸いです。

今年の冬も寒さ厳しめでしたね。学生時代に奥出雲で鍛えられた、氷点下での生活や雪かきも行わなくなると身体に堪えるようになりました。この冬は、着る毛布+履く毛布+ネックウォーマーを駆使して過ごしましたよ。結果、節電にもなりました。あと鍋やシチュー、お茶など温かい物も美味しく頂きました。ジャスミンさんも「栄養補給しなきゃ」と言っていますし、食べると元気が出ます。

“一月は行く、二月は逃げる、三月は去る”といいますが、新年度もすぐそこかもしれませんね。春になると草花が芽をだして、桜が咲き、パステルカラーのきれいな景色が増えてきます。屋外活動も行いやすくなるでしょう。私は運動を兼ねて自転車に乗ろうかしら・・・。

春の訪れのように、この『おはいごん』が楽しく活気のある作業療法の世界へ導くためのツールの一つになれたら嬉しいですね。皆様と素敵な物を築いていき、島根県全体が盛り上がりつついていくといいですね。それでは皆様ごきげんよう。

HP



Facebook



Instagram



会員所属施設数 138施設

会員数 526名

(令和5年4月1日現在)

発行者 小林 央
発行所 一般社団法人 島根県作業療法士会
編集者 森脇繁登 石田史穂
デザイン 稗田朝海
広報部 森脇繁登 石田史穂 板倉千尋 板倉慎也 岩根寛 稗田朝海 堀江利光
山根友美 山本豊和

事務局 一般社団法人 島根県作業療法士会 島根県大田市大田町吉永1428-3 大田市立病院作業療法室内